

令和6年度行政評価（令和5年度実績）に係る新見市総合計画等外部評価委員会の意見反映状況

令和6年度行政評価（令和5年度実績）において、外部評価委員会から示された意見等に対する反映状況は以下のとおりです。

1 第3次新見市総合計画

1 産業・経済

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 農業	資料P16「新規就農者確保育成事業」について、新規就農者について支援をしていると思うが、就農後も段階に応じた支援を検討していただきたい。	実施済	【農業畜産振興課】 本市では農協園芸生産部会員への生産資材費への支援や、委託事業による生産技術向上のための講座開催、定期的な就農状況確認などを行っております。 今後も、支援制度の拡充や関係機関との連携などにより、離農となることがないよう努めてまいります。
	資料P17「アグリツーリズム推進事業」について、施設利用人数が目標値の8割に満たない状況のため、利用者アンケートによる満足度、不満な点、ニーズ把握等が実施できないか。	実施済	【農業畜産振興課】 商工観光課で実施したアンケート結果や宿泊者の意見を基に改善に努めています。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(2) 畜産業 ・水産業	資料P19「繁殖牛飼養頭数」について、目標値と大きな乖離がある。目標値は増える方向だが、実績値は減る方向に動いているので、大規模化等を目指す施策の抜本的な見直しが必要ではないか。	実施済	【農業畜産振興課】 簡易的な牛舎や堆肥舎の整備助成として、新見市畜産環境整備事業（補助率1/2上限50万円）を実施しております。また、3年間で20頭増頭を目指す牛舎等整備に対して助成を行う新見市千屋牛生産基盤拡大事業（補助率1/2上限300万円）や、1年以内に5～10頭の増頭を目指す県事業の肉用牛生産条件特別整備事業（補助率県1/3、市1/3）、大規模な牛舎整備に対して国事業のクラスター事業（補助率国1/2）等で支援する体制を整えております。
	資料P19「繁殖牛飼養頭数」について、牛糞の処理という点は深刻な問題であり、牛糞処理のための施設をつくるなどの支援がないと頭数は増えないのでないか。	実施済	【農業畜産振興課】 簡易的な堆肥舎の整備助成として、新見市畜産環境整備事業（補助率1/2上限50万円）を実施しております。また、3年間で20頭増頭を目指す牛舎等整備に対して助成を行う新見市千屋牛生産基盤拡大事業（補助率1/2上限300万円）や、1年以内に5～10頭の増頭を目指す県事業の肉用牛生産条件特別整備事業（補助率県1/3、市1/3）、大規模な牛舎整備に対して国事業のクラスター事業（補助率国1/2）等で支援する体制を整えております。
	資料P22「農林畜産漁業創業支援奨励金」について、創業段階で5人以上の新規雇用は、求人しても応募採用できないケースも想定され、売上も実績もない段階で5人以上の雇用や、大きな規模の固定資産の取得はリスクが大きいのではないか。小さく立ち上げ、大きく育てる視点で「ホップ・ステップ・ジャンプ」のように、事業者の成長段階に応じた支援施策の検討が必要ではないか。	実施困難	【農業畜産振興課】 本制度は、農林畜産漁業の振興及び6次産業化を図るために、操業を開始した企業に対し奨励金を交付するものです。 生産から加工までを含めた6次産業化に必要な雇用であり、長期的に事業を継続していくためには一定規模での操業が必要であると考えております。 今後も農林畜産漁業の発展に繋がる施策となるよう努めてまいります。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(3) 林業	皆伐が非常に多いという印象を持っている。総合評価には植栽面積が30%程度と低調であると記載されているが、皆伐が非常に進んでいる状況で、災害への対応は問題ないか。	実施済	【林業振興課】 「未来へつなぐ新見の林業会議」の中で、作業道の開設や災害を起こしにくい施業の方法について、素材生産事業者に集まっています、研修会を行うなど、災害を起こさないような工事、作業の仕方を皆さんで勉強しながら進めています。
	資料P24「地域林業担い手育成事業」について、林業に従事する若い人は増加しているが、伐採に特化しており、植林や下刈り等に従事する人が少ないことが再造林が進まない理由のひとつではないか。	実施済	【林業振興課】 「未来へつなぐ新見の林業会議」の中でも話が出ており、人的資源の振り向け先をどのように変えていくかなどについて協議しております。
	資料P25「木材新特產品開発事業」について、こども園や公園など、子どもに関係するところに活用できないか。また、イベントの場等でPRやメディアの活用等、様々なことを少しずつでも実施していくかないと盛り上がらないのではないか。	実施予定	【林業振興課】 令和7年度については、市制施行20周年に併せて、本市で初めて木育キャラバン（移動型おもちゃ美術館）を開催し、子どもから大人までの幅広い世代を対象に、木に触れる機会を創出する予定にしております。また、市内の公共施設等の木質化を図ってまいります。
(4) 鉱業・工業	資料P29「企業誘致推進事業」について、どの程度市内経済に効果があるか、よく検証して誘致を行っていただきたい。 また、人材の取り合いという問題から、業種や職種を選定し、できれば企業とともに、そこで働く人も市外から来るような企業を選定いただきたい。	その他	【商工観光課】 市内で資材調達を行うなど、市内経済の好循環につながる企業を誘致することが重要と考えております。 また、誘致にあたっては、市内にない業種や職種の選定、従業員も含めた誘致といった視点を持ち、取り組む必要があると考えております。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(5) 商業・サービス業	資料P34「ICOCAを活用した地域活性化事業」について、目標値をICOCAの普及率から利用額に変更したことは良いと思うが、どこで何に使われたのかという分析や、ランニングコストを含めた費用対効果の分析が必要ではないか。配ったポイントが呼び水となって、それ以上の消費が市内でされないと、生活者支援にはなるかもしれないが、経済対策ではないのではないか。	実施済	<p>【商工観光課】</p> <p>利用や費用対効果については、産業連関表シミュレーションシートの活用による分析を検討しております。</p> <p>「新見市オリジナルICOCA」は、そもそも市内で調達可能な日用品や食料品などの多くが、市外で購入されている市民の消費行動に着目し、市内消費を喚起する必要があることから導入したものであります。</p> <p>また、「デジタル地域通貨」であり、市内消費の喚起のほか、生活者支援による住民福祉の向上、地域コミュニティの活性化、デジタル化の推進を主な目的としております。</p> <p>なお、市外からお金が流入する経済効果を発揮することも重要であり、現状では、転出者にもそのまま利用いただいているほか、ふるさと市民など市外在住者へのカード交付などについても検討しているところであります。</p>
	資料P32「創業件数」について、創業件数が9件ということだが、逆に事業・店舗をやめるケースが非常に増えていないか。また、何か対策が必要ではないか。	実施済	<p>【商工観光課】</p> <p>市内事業者の廃業については、関係団体などから情報共有いただき、把握しているところであります。事業を継続もしくは承継を望む事業者に対しては、創業・事業承継支援事業補助金制度による支援をしているほか、令和7年度は新たに事業承継マッチング支援事業にも取り組むこととしております。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(6) 観光	資料P36「周遊型観光ツアー助成事業」について、補助率を見直すとあるが、見直しを行うと旅行業者に使ってもらえないくなるおそれがあるのではないか。	その他	【商工観光課】 本事業は補助率の高さがツアー事業者や市内事業者に好評であることから、令和7年度は補助率の見直しは行わず、閑散期（11月～3月）を助成対象期間とし、本市を訪れる観光客の分散化を図りたいと考えております。
(7) 雇用・労働	資料P42「企業ガイド作成事業」について、目標値・実績値がないので、何かふさわしい目標値を設定するとよいのではないか。	その他	【商工観光課】 WEB版の企業ガイドを充実させるためには、掲載企業から徴収する掲載料の確保が課題となることから、「掲載企業数」を目標値に設定することとします。
	資料P44「就職支援事業（東京圏分）」について、ターゲットを明確にする点では、例えば大きな会社で子育てが終わり、役職定年されているような方も考えられないか。	実施困難	【移住・定住推進課】 就職支援事業（東京圏分）は、岡山県の制度であり、県の就職サイトで求人募集している企業へ就職する必要があります。このため、企業側で役職定年された方を募集すれば対象となりますが、市としてできることはありません。
	資料P44「就職支援事業」について、転居に要する費用の支援であるため、引越し費用や敷金・家賃にも使える現金が使いやすいと思われるが、地域ポイントに切り替えて利便性を低下させると効果が薄れるのではないか。	実施困難	【移住・定住推進課】 市内で利用できる地域ポイントでも、新生活における生活費や家電の購入に充てることは可能であり、事業効果はあるものと考えております。 なお、令和5年度は現金での支援を行いましたが、申請者へのアンケート結果では、引越し費用や敷金に充てた方は3割未満でした。

2 健康・福祉

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 健康・保健	<p>資料P52「健康ウォーキング事業」について、身近な場所で広く市民が参加できるような仕組みができれば良い。</p> <p>新たな取組の検討、事業の見直しをしていくことなので、そのあたりも踏まえながら、できるだけ身近なところで活動ができるような取組を検討いただきたい。</p>	実施済	<p>【健康医療課】</p> <p>地域住民ふれあい地域づくり支援事業や、職場等に出向いて行うおでかけ健康教室において、ウォーキングをメニューに盛り込み、地域ごと、職場ごとなど、身近なところでのウォーキングを積極的に提案しているところであります。</p> <p>今後も、運動習慣の定着へ繋がるような取組を検討してまいります。</p>
(2) 医療	今後、国の方で歯の定期健診の年1回義務化という動きがある。新見市でも国の動きに遅れないように取り組んでいただきたい。	実施予定	<p>【健康医療課】</p> <p>国が推奨する10年に1度の検診勧奨を行っており、この勧奨から市民の定期検診受診を図っている状況であります。今後も国の動向を注視しながら市民の歯周疾患予防に取り組んでまいります。</p>
	次期総合計画では、がんの死亡率や脳卒中の死亡率、心筋梗塞の死亡率等、他の都市と新見市の状況が比較できるような指標が取り入れられないか。	実施困難	<p>【市民課】</p> <p>死亡原因のデータについては、全数を把握することは困難であり、また国や県が持つ数値は直近のものではないため、死亡率を指標とすることは困難であります。</p> <p>本市としては、引き続き、積極的に特定健診の周知・勧奨に取り組み、病気の早期発見による早期治療や効果的な保健事業を実施し、心筋梗塞などの生活習慣病の予防に努めてまいります。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(2) 医療	<p>資料P54「看護学生奨学金支援金給付事業」について、就職先の制限という具体的な部分がネックになっているが、看護師も高齢化しており、最低限の人数を確保する必要がある。</p> <p>全国から来ている大学生にとっては地元に帰るという希望もあると思うが、そちらも援助しながら、あわせて新見市の看護師を確保する方法も検討していただきたい。</p>	実施済	<p>【健康医療課】</p> <p>看護学生奨学金支援金給付事業は、市内勤務を求める義務年限期間を当初の4年間から奨学支援金を受給した期間に、また、卒業後に最長5年間の市外勤務を認めなど、これまで利用しやすい制度に見直しながら実施しているところであります。</p> <p>令和6年度には看護師定着奨励金給付事業を新たに創設したところであります、今後とも市内看護師の確保に取り組んでまいりたいと考えております。</p>
(3) 児童・福祉	<p>来年度から新見市で出産ができなくなると、県南や県外で出産することになるが、定住を促すためにも、市外での出産に対する助成金等の支援が必要ではないか。</p>	実施済	<p>【健康医療課】</p> <p>令和7年度から、妊娠・出産応援パッケージ事業を新たに創設し、妊婦に対して、健診にかかる交通費の支給及び出産時における宿泊費の助成を行っております。</p> <p>引き続き、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを推進してまいります。</p>
	<p>資料P59「保育所等ICT化推進事業」保育業務支援システムについて、市内でも類似のシステムを開発して取り扱っている業者があるように思うが、市内業者の活用について、システムを選定されるときに検討をしたのか。</p>	実施済	<p>【子育て支援課】</p> <p>保育業務支援システム導入については、市内業者も考慮したうえで、公募型プロポーザル方式による提案募集をし、岡山県内の業者に広く公募いたしました。</p> <p>なお、市内業者からの応募はありませんでした。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(4) 高齢者福祉	<p>資料P63「介護学生奨学支援金給付事業」について、進む高齢化と人口減少の状況から、市民の方々が大学に向ける目もだんだん厳しくなってきているように感じる。大学で学んだ人たちがそれなりの効果を持って新見市にお返しするというものが、目に見えた形であった方が市民の方も好意的に大学を評価するのではないか。</p> <p>ぜひ学生に、良い環境で学んでいるということの裏側にある責任感というものも周知していただきたい。</p>	その他	<p>【高齢者支援課】 介護学生奨学支援金給付事業は、卒業後の就職先が限定されることから、申請に繋がらなかったものと考えられます。</p> <p>公立大学では授業などを通して、学生が地域に入り、地域住民と関わりを持ちながら交流を続けておられます。それらの活動や学生生活を通して、新見市の魅力を知っていただき、就労先の候補としていただけるよう引き続き介護人材の確保に取り組んでまいります。</p>
(5) 障がい者 (児) 福祉	意見等なし		
(6) 地域福祉	資料P70「達成目標の進捗（達成）状況」について、地域の住みやすさを感じる人の割合、定住の意向の割合は年齢ごとに分析すれば色々と課題が見えてくると思う。年齢階層ごとに分析等実施していただきたい。	実施済	<p>【福祉課】 「地域の住みやすさを感じる人の割合」及び「定住の意向」について、年代別に比較・分析を行いました。この分析結果を参考とし、今後の施策検討に役立ててまいります。</p>

3 教育・文化・スポーツ

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 就学前教育・義務教育	発達障害への関心の高まり等から、子どもの発達障害に気づくことが増えている。不登校生徒についても、様々な理由が背景にあるが、集団での生活が難しい子どももいるのではないかと考えられる。そのような子どもが自分の居場所を見つけ、のびのびと成長できるように、マイノリティに寄り添い、親も子どもも安心して過ごせる場所が学校以外でも提供できると良いのではないか。	実施済	<p>【学校教育課】</p> <p>発達障害による学習や生活での困難さや課題を抱える子どもと保護者に寄り添った就学支援や教育相談ができるよう、新見市特別支援教育推進センターと連携を図っております。</p> <p>また、本市では適応指導教室「新生塾」を開室し、学校に登校したくても登校することのできない児童生徒の社会的自立を目指して、個々のニーズに応じた支援を行っております。</p>
(2) 大学・高等学校	資料P85「高校魅力化推進事業」について、早急に手を打たなければいけない問題である。市外の高校に行ってしまう場合、例えば志望する学科・部活がないというのは、やむを得ない理由ではないかと思う。しかし、他の理由が多いようであれば対策できる可能性があるため、高校を選択する際の実情をしっかり分析するとともに、効果検証を行いながら実施いただきたい。	実施予定	<p>【教育連携推進課】</p> <p>市民アンケートの結果から、進学・就職率の高さや学校のイメージで市外の高校を選んでいる生徒も一定数いるようですので、適切な進路指導を行うとともに、市内高校の魅力化推進に努めてまいります。</p>
	資料P85「高校魅力化推進事業」について、人数が少ないといろいろな人と交わる経験ができないのではないかと心配している親もいるのではないか。進学や部活等も重要かもしれないが、もしかしたら人数そのものを問題にしている親も一定数いるのではないか。	その他	<p>【教育連携推進課】</p> <p>一定数いる可能性はあるため、引き続き、市内中学校の進学率向上に向け、魅力化推進に努めてまいります。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(2) 大学・高等学校	大学についての総合評価記載はあるものの、実施計画事業が掲載されていないため、該当する事業があれば記載いただきたい。	実施困難	【教育連携推進課】 大学の事業については、評価対象外事業としているため該当はありません。委託事業については、7-③コミュニティ・N P O・ボランティアで評価しております。
(3) 生涯学習	意見等なし		
(4) 芸術・文化・文化財	資料P93「新見莊魅力発信事業」について、小学校、中学校の社会科授業の中で「新見莊」に対する理解を深められよう、市教委等と連携し教員向けの講座を開催してはどうか。	実施予定	【生涯学習課】 「中世東寺領新見庄を活かしたまちづくり委員会」において、小中学校の教員を対象とした新見庄に関する講座等の開催を検討してまいります。
(5) スポーツ・レクリエーション	たたら操業について、実施場所が確保できず中断していると聞いているが、解決策の検討は行っているのか。	その他	【生涯学習課】 新見庄たたら学習実行委員会が行っていた「たたら操業」については、一定の成果を得ることができたことから、令和4年度をもって事業を終了しております。 今後、民間団体等において取組が行われる場合は、積極的に支援してまいります
	意見等なし		

4 安全・生活基盤

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 防災	資料P104「個別避難計画作成促進事業」の評価が3であり、「自主防災組織支援事業」も実績が落ちている。自主防災組織の増加が目標ではあるが、未加入の問題や、高齢化が激しいところは組織を作ること自体が困難であると思われる。地震時の孤立対策や、見落とされがちな高齢者世帯や独居老人への対応等、さらなる見直しが必要ではないか。	実施予定	【総務課】 「個別避難計画作成促進事業」は、市内の自主防災組織を対象にモデル地区を募集して作成に取り組みました。初年度、4地区で実施しましたが、翌年度からは希望する地区がなく、作成が広がっていません。現在、示されている作成手順では、小規模な組織や地域への負担が大きく、作成が進まないと思われるため、その作成方法も含めて見直しを検討してまいります。
	資料P104「個別避難計画作成促進事業」「自主防災組織支援事業」について、最近は災害等がなかったので市民みんな安心していると思うが、そういった研修だけでは絵に描いた餅のようになんて困るのではないか。最近は、「自助、公助、共助」というよく言われるフレーズに加え、「近助（きんじょ）」という、近くをまず助けるという概念も出てきていると聞く。いつも隣近所を意識するということは、自主防災に関してだけでなく地域とのつきあいにも関連してくるが、そういったことも注視し啓発が必要ではないか。	実施済	【総務課】 「自主防災組織支援事業」は本市の地域防災力向上のためのもっとも直接的な事業として、自主防災組織単位での訓練の実施、防災資機材の充実に活用いただいている。制度の普及と合わせ、未組織の地域での組織化が進むことが理想ではありますが、自主防災組織の設立が困難な地域においても、災害時には、隣近所で助け合うことが望まれるため、地域の研修等では、日ごろから顔の見える関係づくりを呼びかけております。
	防災について、集会所が老朽化していたり、トイレが和式のくみ取り式の箇所がある。避難した際に高齢者はトイレも使えないような状況になるのではないか。トイレの和式くみ取り式については、新見市で改善できることなのか。昨今は集中豪雨等も多く局所的に災害が起きたりするため、近くに避難する場所が出来たら市民も安心できると思う。	実施済	【総務課】 老朽化している集会所の修繕については、「地域の集会に使用する公会堂施設整備費補助金」があり、トイレの改修にも活用いただけます。避難所として利用が想定されるような集会所は、制度を有効に活用いただき、改修を進められるよう推進してまります。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(2) 消防・救急	消防・救急という項目であるが、救急に関する達成目標がない。次の総合計画では、通報から出動までの時間等の指標を追加してみてはどうか。	実施困難	【消防本部】 救急活動の指標として、時間的な要素や救命率も考えられますが、救急活動時間については、通報者の要領の良否や事案が発生した場所、傷病者の容体によって大きく影響を受けるため指標に適さず、また救命率については、一般的に救命率の母数とされる心臓に起因する目撃された心停止が年に数例しかなく、統計的な有意差のあるデータが得られないことから、こちらも指標には適さないと思われます。以上のことから、救急活動についての指標設定は困難と考えます。
(3) 防犯・交通安全	意見等無し		
(4) 水道・下水道	意見等無し		

5 都市基盤・交通

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 道路	人口が増え世帯数が増えているときは道も延伸していかなければならないのだろうが、人口が減ってきて世帯数も減ってきている中で、管理する道路延長だけは変わらないというのは、維持できないのではないか。	実施予定	【建設課】 戸数が減少した集落に対しても道路の維持管理は必要であります。将来的には路線の廃止や橋梁の集約・撤去なども見据え、効率的な維持管理に努めてまいります。
	資料P120「道路新設改良事業」について、市民の利便性・安全性の向上のため、待避所や歩道、交通安全施設の設置など既存道路の効果的な活用等について、工夫をしながら進めていただきたい。	実施予定	【建設課】 ご意見のとおり市民の利便性・安全性向上に向けて、工夫をしながら進めてまいります。
(2) 住環境・情報通信	資料P124「金谷地区土地区画整理事業」について、公園や道路等を整備すると思うが、それらを活用した防災対策については何か考えているのか。防災トイレや、水道等をすぐ使えるようにしている防災公園などがあるが、具体的に何か施設として考えているものがあるのか。	実施予定	【都市整備課】 金谷土地区画整理事業については、施工区域が現在のハザードマップ上では浸水区域に指定されているため、区域全体を嵩上げすることにより浸水対策を行うほか、施行区域と正田地域を繋ぐ橋梁を新設することにより、災害時の国道180号線の迂回路を確保することとしております。 公園部分については、法により全体面積の3%以上整備しなければならないため、現時点では位置や面積等のみ事業計画に位置付けておりますが、ご指摘いただいた「防災」の視点も加えながら、詳細な設備等について今後検討してまいります。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細	
(2) 住環境・情報通信	資料P126「新見駅前駐車場・駐輪場再整備事業」で、駐輪場を増やして駐車場の数は足りているのか。時間帯によっては足りないときもあるのではないかと感じているので、そのあたりを計画的に進めていただきたい。	その他	<p>【総務課】</p> <p>大型連休などの際には、他に民間駐車場がないため駐車場不足となるケースもありますが、年間を通して駐車場不足によるトラブルは生じていないことから、駐車場台数については賄えているものと考えております。</p>	
	新見駅前第2駐車場の「空車」「満車」の表示看板が見えづらいのではないか。	実施済	<p>【総務課】</p> <p>令和5年度及び令和6年度で実施しました「新見駅前駐車場・駐輪場整備事業」において、利用者に見えやすい表示看板に改修を行いました。</p>	
(3) 公共交通	意見等なし			

6 環境

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
	ナラ枯れについて、新見市として何か対策が必要ではないか。	実施済	<p>【林業振興課】 被害拡大を防止するため、被害木に粘着シート被膜し、カシノナガキクイムシの羽化脱出を防ぐ対策を実施しております。 (令和6年度実績：97本、令和7年度計画：200本)</p>
(1) 環境・自然・生態系	<p>資料P136「住まいの脱炭素促進事業」について、当初は市内の事業者に限定していたものを、要件緩和し市内の業者でなくても補助金を出すということにされたかと思うがその理由は。</p> <p>また、市内業者への発注が減り、全部市外の業者に流れてしまう場合は、施策自体を見直す必要があると考えられる。</p>	実施済	<p>【環境課】 理由につきましては、以前は市内業者に限定していましたが、市外業者を通じてのニーズが非常に多くあつたため、要件を緩和させていただきました。</p> <p>令和7年度の脱炭素促進事業につきましては、市外業者へ発注が流出することを防ぐとともに、市内業者を通じての申請比率を上げるため、市内業者を通じての申請については、補助金額を上乗せするよう見直しを行っております。</p>
(2) 廃棄物・公害	意見等なし		

7 交流・コミュニティ

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 交流	意見等なし		
(2) 移住・定住	<p>市内に外国人が仕事の関係も含めて増えてきていると感じている。</p> <p>その中で、外国人に生活面等も含めた支援ができるような体制も今後考えていかなければならない。次の計画等の中でもご検討いただきたい。</p>	実施困難	<p>【移住・定住推進課】</p> <p>仕事で居住される外国人の方に対しては、出身国によって求められる生活サポートが異なるため、事業所側で生活支援を行っているところが多く、行政側で寄り添った支援は困難です。なお、行政側で実施している支援については、計画等への記載を検討いたします。</p>
(3) コミュニティ・NPO・ボランティア	<p>市内の様々なお店にアルバイトで学生達が働いており、市内の人手不足に大きく寄与していると思う。</p> <p>もっと大学にいる学生が、新見を好きになってもらえるような取り組みが出来れば、学生がそのまま新見に住むようなことができてくるのではないか。</p>	実施予定	<p>【教育連携推進課】</p> <p>新見を好きになってもらえるような取り組みについて、調査・研究してまいります。</p>
(4) 人権・パートナー	意見等なし		

2 地域再生計画

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
I C O C A を活用した地域活性化プロジェクト	地域再生計画の概要の説明の中に、市外在住者の外貨獲得を目指すという文言があるが、I C O C Aを発行して市外在住者の外貨獲得にどのようにつながっていくのか。	その他	<p>【商工観光課】 新見市オリジナルI C O C Aについては、転出をされた方にも引き続き使用していただいており、市内で買い物をすると市外在住の方でもポイントが付与されることから、外貨獲得につながると考えております。</p>

3 その他

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
	施策の優先順位について、例えば、助産の問題や、救急医療問題、教育問題など、優先順位が高い項目と低い項目があるのではないか。例えば助産ができなければ他の市に引っ越してしまう可能性もある。市民のニーズを拾い上げ、緊急な対応が必要であれば、指標も厳しいものを選び、評価についての対応を確実に行っていかなければいけないのではないか。	その他	<p>【総合政策課】 施策につきましては、全て同じように取り組んでおり、指標につきましては、各施策ごとに適切に設定する必要があると考えております。評価の方法として貴重なご意見であることから、後期行動計画における評価で検討いたします。</p>